

【解答例】

① A じゆく

B しゆくしやく

C にそくさんもん

D すく

E いさ

F 除雪

G 罪

H 晴耕雨読

I 操縦

J 荷

② A 屋

B 草

C 馬

D 庭

E 足

③ 問1 X…⑤

問2 I…厳しい自然環境下

問3 II…環境の変化に体調を合わせて生きる

問4 i…日照時間が一定以下（九字）

問5 ii…暗闇にある間に蓄積した、花芽を形成するホルモン（二三字）

(1)…⑥

(5)…⑦

問6 ②・⑤

④ 問1 a…①

問2 I…学校内外の雑用をする

II…決まった事務をやって、次の代に引き継ぐ

III…校内のボランティアでやる

問3 自分が選ばれるとはとても思えないので、せめてカッコ悪くない負け方をするためには、何票くらい取ればいいか（五一字）

問4 ④

問5 近所の犬の毒エサ問題に関心を示した光也なら、何かを相談したときに興味を持って話を聞いてくれる（四六字）

問6 ③・⑤

【解説】

③ 池内了『科学知』と「人間知」を結びつけるために——わたしの最終講義

問1 接続語を選ぶ問題

X の前に書かれている、人間には時間を測る神経回路があるということの具体例が、

X の後に書かれています。  
Y は、前の二段落に書かれた「温度センサーによって：咲くべき時期を決めている」梅や桜、桃と、後に書かれた「日中の明るさの変化を感じするセンサーを……経験的に知られて」いたアサガオが、対比されています。

問2 理由説明の問題

線部Aの直後で、動物の「体内の状態が二四時間の周期で変化」することを、「サーカディアン・リズム（概日リズム）」と言いかえています。サーカディアン・リズムが生じる理由は、「動物が厳しい自然環境下で生き残る上で、環境の変化に体調を合わせて生きることが必須であったため」であると思われると説明されています。

問3 内容理解の問題

線部Bをふくむ段落の次の段落に着目しましょう。①は、文章中に「梅は気温が下がり始めた時期をキャッチすると……開花していく花です」とあるので誤りです。②は、文章中に「桜は最低気温となるまで待ち、気温が上昇し始めたときになってから咲き始めます」とあるので誤りです。③は、文章中の桜の説明に合っています。④は、文章中で「桜の時間の測定」は「外気温という変動する不安定な指標に依存している」と述べてうえで、「桃も同様」であると述べています。また、桃は「暖かさが確実になってから開花している」と述べています。したがって、誤りです。

問4 内容理解の問題

線部Cをふくむ段落に着目しましょう。——線部Cの前では、「短日植物」とは、コスモスやキクなど、「日照時間がある一定以下になったら咲く花」のことであり、アサガオも、「日中の明るさの変化を感じするセンサーを……経験的に知られて」いたとあります。しかし、調査の結果、「夜の長さが九時間以上になったら花が咲くこと」がわかりました。このことについて、——線部Cの後で、「暗闇にある間に花芽を形成するホルモンを蓄積し、……アサガオもそうだったのです」と説明しています。

問5 内容理解の問題

線部Dをふくむ段落に着目しましょう。夏の間は「強い日光」を受けて、葉では光合成の働きにより「栄養分を生産」していますが、秋になると「太陽光が弱くなり、葉では栄養分を作るより、生きていくために栄養分を使う方が多くなります」。そうなる  
と、「本体の木々にとって……厄介者になり」、「葉と小枝をつなぐ部分の細胞において……水や栄養分が流れ込まなく」なり、葉が枝から落ちるのです。これが「アポトーシス」という現象です。アポトーシスは、葉がセンサーで「周囲の温度」と日光の強さの変化を測っていることにより起こります。

問6 内容合致の問題

①は、文章中に「地球温暖化で、冬の寒さの温度が最低になる時期が早くなり」、「桜の開花日がどんどん早くなってい」るとあるので誤りです。②は、最後から二つ目の段落の内容と合っています。③は、「測定の精度は……動物の方がすぐれている」という内容は文章中にはありません。④は、「筆者は否定している」の部分が誤りです。⑤は、文章中の「動物では体内の状態が二四時間の周期で変化しています」、「植物は一年という時間の長さによる環境変化を感知しており」の部分と合っています。

4 吉野万理子『やなやつ改造計画』

問 1 語句の意味を問う問題

基本的な言葉の意味をおさえておきましょう。また、言葉の意味は前後の文脈からとらえられるということも覚えておきましょう。

a 「まばらな拍手」の「まばら」とは、「間があいている」様子のことです。b 「その場しのぎで」とは、「その場」だけを「しのいで」、つまり「やり過」して」という意味です。c 「何食わぬ顔をして」は、「何も知らないようなふりをして」という意味です。「そしらぬ顔をして」ともいいます。

問 2 内容理解の問題

小笠の発言に着目しましょう。まず、小笠は路上に毒エサが置かれた事件は「外部のこと」であると言い、そして、「生徒会は学校内外の雑用をするお手伝い係じゃない」、「決まった事務をやって、次の代に引き継ぐのが仕事」であると言っています。さらに、事件への対策は「やるとしても校内のボランティアでやること」であり、「生徒会」の仕事とは「違うジャンル」だと伝えています。

問 3 心情説明の問題

――線部Bの直前に「そんなこと」とあるので、前の部分に着目します。光也には、「選ばれるのが自分だとは、とうてい思えなかった」とあります。そして、光也は「カッコ悪くない負け方をしたいなあ、何票くらい取ればカッコ悪くないかなあ……」と、体裁を保つことについて考えています。

問 4 心情理解の問題

――線部Cをふくむ段落から、「放課後、モリリは……家の用事があつた。」という一文の直前までに着目しましょう。光也は、性格分析官、つまり小笠が歩いているのを見て、「お疲れ、と心のなかで声をかけ」ました。そして自分の投票後、選挙管理委員に「お疲れさまです」と「事務的な挨拶」をされ、「そうだよ、本当にお疲れさまだ。本当に本当に終わったんだ――」と感じています。

問 5 内容説明の問題

――線部Dの後のモリリの発言に着目しましょう。モリリは、「あの質疑応答で人間性がわかった」と言った生徒が何人かいたと言いました。つまり、「近所の犬の毒エサ問題」は「生徒会の仕事」ではなかったとしても、そのことに「関心」を持った光也なら、「何か相談したとき」に話を「聞いてくれそう」だと、何人かの生徒は判断したのです。このことは、光也が生徒会長として当選した一因となりました。以上のことを、指定字数にまとめて答えます。

問 6 内容合致の問題

①は、小笠や平野に反論されたときの光也の様子について、「顔がこわばりそうだ」、「うなだれたくなり」と表現されているので、「一切動じることにはなかった」の部分は誤りです。②は、光也は生徒会長に選ばれており、また、「今度は……気を取り直した」という内容は文章中にありません。③は、文章中の「光也はもごもごと……絶対に口にできなかっただろう、と」の部分に合っています。④は、打ち上げでヤナギに茶化された光也は、「おまえ！ 言い方！」と言いつ返しているので誤りです。⑤は、文章中の、選挙の翌日の光也の様子の説明と合っています。